

Meikai

NEWS LETTER

明海大学

毎月1日発行

編集・発行

広報課

題字：創立者筆

読者投稿

自分は大学2年生のときに、宅地建物取引主任者試験に合格し、卒業間近の4年生のときに、行政書士試験に合格しました。大学時代にこの2つの資格を取得できたことは、自分自身に、大きな喜びと自信を与えてくれました。

そもそも、資格を取得しようと考えたのは大学に入ってから1年が過ぎようとしていたころでした。大学生活に慣れ、平穏な日々を送っていたつもりでしたが、ふと、自分の将来について考えてみると、そこに明るいビジョンはなく、今のままの自分ではだめだと気づいたのです。そして、いろいろ考えた結果、資格を取得することの重要性に気づき、本学が開講している宅建講座に申し込みました。

宅建は自分にとって慣れない法律関連の勉強でしたが、授業に毎回出席し、真剣に取り組んだ結果、1回で合格することができました。自分が次に選んだのは、行政書士でした。そのため、夜間に大手の法律専門学校に通い始め、昼は大学、夜は専門学校と二



自己を高めるためにトライを

経済学部 4年 村上文永

足のわらじを履くことになりました。しかし、努力も空しく1年目は不合格、次は必ずと奮起した2年目に合格することができました。何よりもうれしかったのは大学時代に結果が残せたことでした。

私は卒業後は、就職をせず、法律学校に進み、さらに上の資格である司法書士を目指すつもりでいます。そのため、宅建や行政書士という資格が就職活動にどのよう有利に働くかということをみなさんにアドバイスすることはできません。しかし、資格取得の目的は、決して就職を有利にさせるためだけのものではないと思います。本当の目的は、今の自分に自信を与え、貪欲なままに自己を高めていくことではないでしょうか。就職するということは、社会人としての第一歩を踏み出すことであり、それはそれでとても大切なことだと思います。けれど、あまりそれに捕らわれ過ぎずに、自分の目的のため、自己を高めるために、資格取得を含め、ぜひ、大学時代にいろいろトライしてもらいたいと思います。